

## 【株式相場レポート】

～様子見の中に薄明かり～

	11日終値	前週末比
日経平均(円)	22,758.48	+285.70
ドル(円)	109.49-50	-0.29
NYダウ(ドル)	24,739.53	+477.02
長期金利(%)	0.045	±0.000
NY原油(ドル)	71.36	+1.64

※NYダウ・NY原油は10日終値、ドル・長期金利は11日15時現在

### 今週の総括

#### ★個別決算反応を織り込みつつも、全体は円安と原油高を下支えに小じっかり

##### 今週のプラス材料

- ・北朝鮮関連:中朝首脳会談開催、米朝首脳会談決定
- ・18/3期決算発表:まずまず堅調

##### 今週のマイナス材料

- ・米、イラン核合意離脱を発表、経済制裁再開へ
- ・米中通商摩擦:交渉継続も互いの制裁圧力続く

今週の日経平均は、1ドル109円台の円安を支えに、大きく売られることもなく堅調に推移した。

世界景気、国内景気ともに大きく崩れる要因もなく、一方で、今週は2回目の中朝首脳会談開催や米朝首脳会談の開催日程が確定するなど、「雪解けムード」も感じられるニュースが続いた。本格化した決算発表も、個別企業ごとには強弱がありながらも、10日時点では想定外の不安材料もなく、全体に日本企業の堅調さを表している状況。米長期金利が3%前後で高止まりしていることをベースにドル円が1ドル109円台に留まったことも、株価の下支え要因として機能している印象。緊迫しつつあるイラン情勢を背景に、原油価格が1バレル70ドル台に上昇しているが、それ以外は大きなマイナス材料もなく日経平均も底堅く推移している。

業種別にみると、円安に加えて前週売られた反動もあり、自動車や機械、電機・精密などが強めの推移。決算発表後に上昇したトヨタ等の影響も大きいと見られる。一方で資源株、食品、非鉄、海運、空運、証券等が弱めの動きとなった。

### 来週以降の見通し

#### ★ボックス圏の動きがしばらく続きそう

日経平均想定レンジ **21,500～23,500円**

##### 来週以降の注目材料

- ・北朝鮮に関する発表/報道
- ・イラン、シリアに関する各国の動き
- ・米通商政策に関する中国を含めた関連動向
- ・米株価と原油価格の動き

##### リスク要因

- ・北朝鮮動向
- ・米政権の動き/関連報道
- ・原油価格と為替市場の乱高下
- ・メガバンク株価のピークアウト

来週の日経平均は、大きな変化材料が乏しくなる中、様子見モードが強まりこう着する可能性が高そうだ。

11日がピーク日だった決算発表は、来週もまだ続くが、残る大型株は銀行、保険と建設の一部ぐらいだろう。いずれも大きな変化は予想されないため、日経平均を動かす要因とはなりにくい。

金融市場にとり、当面の最大の注目材料は北朝鮮動向だが、6/12の米朝首脳会談を待つ必要がある。注目が続く米中通商摩擦も、お互いのけん制や駆け引きが続いているものの、短期的に節目となるイベントは想定されていない。イランを巡る懸念は原油価格の上昇要因だが、一方的な上昇が続けば、米シェール増産などの供給増加が進むため、数ヶ月単位で見ればこれ以上上昇する可能性よりは、1バレル50～60ドルに戻り安定化する可能性の方が高いだろう。

いずれも「最悪の事態は無さそうだ」との市場想定から大きな売り材料とはなっていないものの、結論はもちろん、方向性もまだ見えないため、「結果として様子見」という局面が続きそうだ。

次頁にコラム「徒然なるままに」

## 徒然なるままに

GWの前半、自宅の窓サッシを数か所ほど交換作業をしてもらった。

「ハウスメーカーのメンテナンス子会社の者ですが、数年前の窓サッシのリコール、ようやく準備ができたので、作業日のご相談でお電話しましたあ」  
最初に電話があったときは、新手の詐欺工事業者かもと疑ってしまった。

私の家は新築からちょうど10年、つい数ヶ月前に電話と同じメンテナンス子会社の担当者に10年点検をしてもらったばかり。その時には、リコールの話は出なかった。というか、数年前のリコール発生時点から、一度も連絡も通知も受けたことがない。

気になって調べてみると、リコールは事実だった。私の家に使用されているアルミサッシのメーカーは、8年前に一部製品が納入後に国土交通省大臣認定の不適合の指摘を受けたと発表していた。さらにネットを見渡すと、「マンションの窓サッシが不適合と言われたけど、1年後に替えてもらった。これでひと安心」という書き込みもある。いやいや、納品数が大量なら多少の後回しは仕方ないとして、8年後とは後回し過ぎるし、そもそも最初から8年間まったく連絡が無いのはいかなものだろう。

その後、サッシメーカーとハウスメーカー本体の責任者が説明に来てくれた。リコールと言っても簡単ではなく、型番ごとにテストして認証取り直しだそう。つまりサイズやガラスの修理が違えば、全て個別に作り直してテスト。しかも既に取り付けてあるので、外枠をそのままに内側のサッシのみの交換で当初の防火・防災機能が出ることを証明して……。我が家の場合は不適合製品全ての認証がそろうのに8年、まだ認証取れてない型番も大量にあるようだ。

- 1、サッシメーカーは不具合起こしたものの、改善努力をし、無料で交換手続きを何年も続けている。彼らは最終消費者を知らないの、その後の対応に不備はない
- 2、ハウスメーカーは、当初の連絡、その後のフォロー、グループ内の情報共有のいずれにも不備ありそう。一生もので「次は他のメーカーに」と言っても買い替えチャンスある人はあまりいないから、会社側も顧客逃げ経験乏しく、気づかないのかも
- 3、大臣認証手続きも採算や効率を度外視してる気もするが、素人には分からない

## リスクおよび手数料等の説明

株式取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。

- 株式取引の委託手数料はインターネット経由の場合1日の約定代金の合計により決定し、100,000円(税抜)が上限です
- 上場有価証券等書面、取引規程、取引ルール等をご覧いただき、内容を十分ご理解のうえ、ご自身の判断と責任によりお申込みください
- 口座基本料は個人の場合には原則無料です  
※各種書面の郵送交付には、年間1,000円(税抜)をご負担いただく場合があります
- 本レポートは、当社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません
- 本レポートは、お客様への情報提供を唯一の目的としたものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします
- 本レポートに掲載された情報の使用による結果について、当社が責任を負うものではありません
- 本レポートに掲載された意見や予測等は、レポート作成時点の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります
- 本レポートの一切の著作権は当社に帰属します。いかなる目的であれ、無断複製または配布等を行わないようお願いいたします

次回発行予定：5月18日(金)17:00以降

業者名等 松井証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号  
加入協会名 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会